

第7章

計画の推進体制

1 推進体制

庁内の各部署はもとより、協議会をはじめ、障害福祉サービス事業者等の関係機関、障害のある人や家族を含む関係団体に加え、地域住民や民間企業など、幅広い主体と連携しながら、取り組みを推進していきます。

2 進捗管理

計画の効果的な推進を図るため、目標ごとに指標を設け、PDCA サイクルの考えに基づき、定期的に取り組みの効果や進捗状況等の分析・評価を行い、帯広市健康生活支援審議会及び協議会に報告します。

また、障害のある人のニーズや社会・経済の情勢、国の基本指針や制度の改正などに対応するため、必要に応じて計画の見直しを行います。

3 成果指標

目標	指標名	指標設定の考え方	基準値 (R4)	目標値 (R11)
I	障害者週間記念事業への参加者数	市の啓発活動の広がりや交流活動への参加量を測る指標	211人	211人
I	出前講座の実施回数	市の啓発活動の広がりを測る指標	41回	48回
I	協議会における当事者・家族の参画回数	障害のある人・家族が意見を発言しやすい環境づくりができていないかを測る指標	1回	5回
II	施設入所者の地域生活移行者数	地域生活支援拠点の面的整備の進捗を測る指標	2人	累計18人
II	地域生活支援拠点の相談支援事業所と短期入所事業所の登録率	地域生活支援拠点の面的整備の進捗を測る指標	未実施	100%
II	地域生活支援拠点におけるコーディネーターの配置	地域生活支援拠点の面的整備の進捗を測る指標	未配置	配置
II	基幹相談支援センターによる個別事例の支援内容の検証の実施件数	相談支援専門員の支援の質の向上を測る指標	未実施	累計12件

Ⅱ	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを協議する場の設置	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの整備の進捗を測る指標	未設置	設置
Ⅱ	医療的ケア児等コーディネーターの継続的配置	市の相談窓口における医療的ケアを必要とする児童や重症心身障害の児童、その家族が相談できる体制を測る指標	配置	配置
Ⅱ	居宅訪問型児童発達支援事業所の維持	外出が著しく困難な障害のある児童が自宅で児童発達支援サービスが受けられる体制を測る指標	1箇所	1箇所
Ⅱ	教員の帯広市地域自立支援協議会への参加者数	福祉と教育の連携体制の整備を測る指標	未実施	累計 39人
Ⅲ	障害者雇用率を達成した市内企業の割合	障害者の自立や社会参加、市内企業の障害者雇用への理解促進を測る指標	49.6%	56.6%
Ⅲ	就労移行支援事業等から一般就労への移行	障害者の自立や社会参加、福祉就労事業所の支援の質の向上を測る指標	16件	30件
Ⅲ	就労事業所や一般企業を対象とした研修の実施回数	就労支援事業所の支援の質の向上や市内企業の障害者雇用への理解促進を測る指標	49回	49回
Ⅲ	市内地域活動支援センターの利用者数	障害者の社会参加の進捗を測る指標	15,897人	24,515人

